

行方市教育大綱

新たな価値を創造し

郷土と社会の未来を切り拓く人間の育成



令和3年3月

行方市

教育大綱策定にあたって

私たちの住む行方市は、豊かな自然と肥沃な台地にあり、歴史と文化を尊重し育みながら、社会の変化に柔軟に対応して歩んできました。

しかし、少子高齢化や人口減少の波は行方市にも確実に押し寄せてきています。さらに、地球温暖化による気候変動、新型コロナウイルスに見られる感染症の脅威など、私たちを取り巻く環境も大きく変化してきています。また、その一方で、AI、IoTに見られるデジタル技術は日々進化を遂げており、私たちが抱える社会的課題の解決に大きく寄与することが期待されています。

このような予測が難しい急激な社会の変化に対応するためには、変化を前向きにとらえ、社会の持続的な成長・発展を目指して、新たな価値を創造できる人財を育成していく必要があります。

そこで本市では、新しい社会において求められる人間像と学びの在り方を考えるとともに、これまで積み上げてきた教育の成果と課題を踏まえつつ、国の第3期教育振興基本計画と行方市総合戦略の基本方針を受け、「行方市教育大綱」を改訂いたしました。

子育て、生涯学習、生涯スポーツ社会を通じた人づくり、人財育成が持続的に発展する行方市をつくることになると考えています。

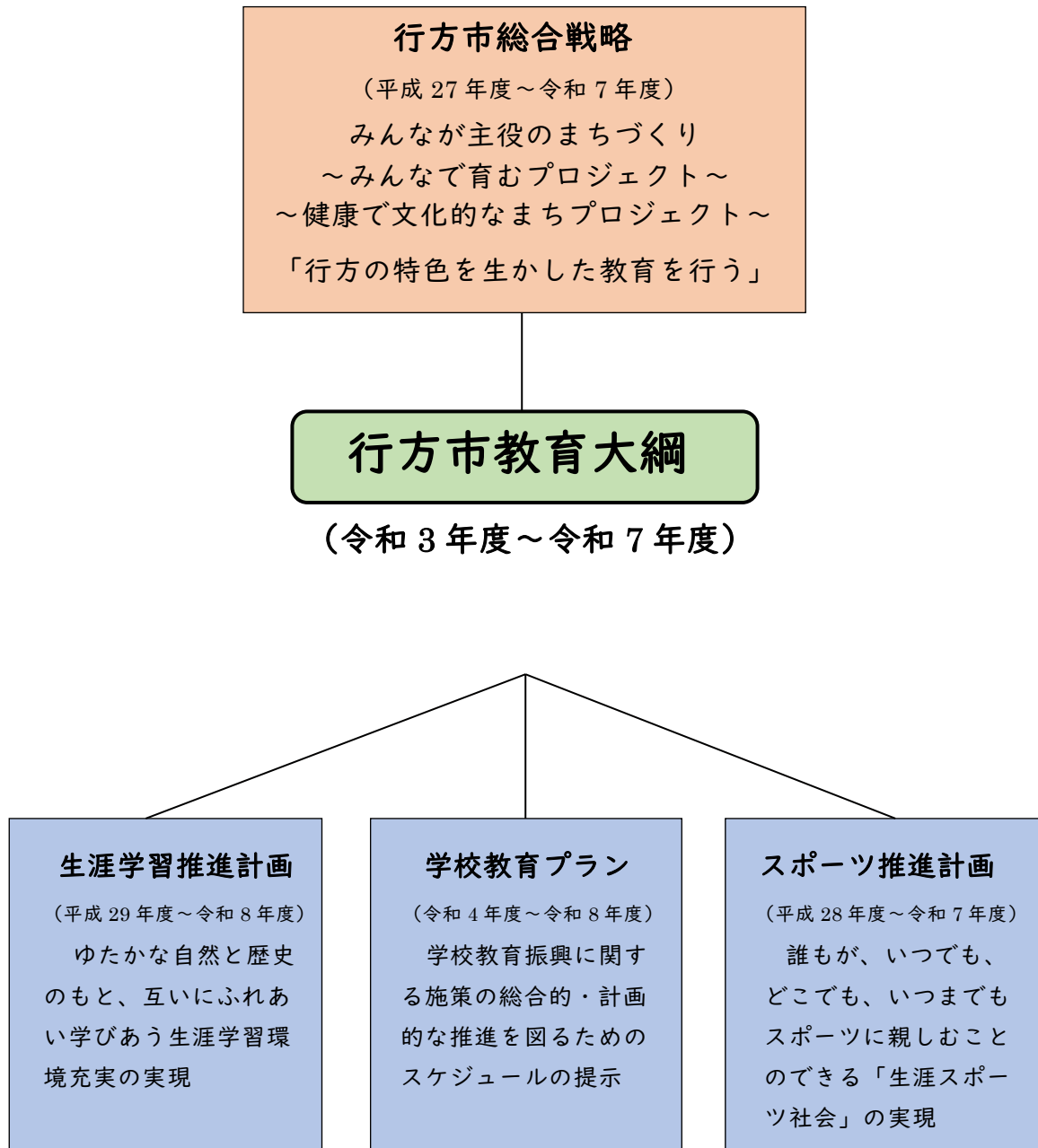
この大綱が、夢と希望に満ちた「ふるさとづくり」の一端となることを願うとともに、行方市の子供から大人までの全ての市民が、新たな価値を創造し、郷土と社会の未来を切り拓き、文化的で豊かな人生を送れるよう努力してまいります。

令和3年3月

行方市長 鈴木 周也

【位置づけ】

この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づく「地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」として位置付けるものであり、国の教育振興基本計画を参酌し、行方市総合戦略のもと市長が定めたものです。



【基本目標】

新たな価値を創造し 郷土と社会の未来を切り拓く人間の育成

【序 文】

私たちは、人口減少、人生 100 年時代の到来とともに、経済成長と持続可能性の両立の課題をデジタル革新（DX）によって解決する、Society5.0（創造社会）への変革期にいます。このような社会を人間らしく豊かに生きるためには、変化を前向きにとらえ、社会の継続的な成長・発展を目指して新たな価値を創造し、生涯を通して心身ともに健康な生活を送れるよう、自立的に学び続けることが大切です。

そこで本市では、いにしえから受け継がれてきた自然、歴史、文化を大切にし、ICTなどを活用した本市の特色を生かした教育、新しい社会を牽引する資質・能力を育成する教育、生涯を通して自立的な学びを重ねられる場の提供を進め、新たな価値を創造し、郷土と社会の未来を切り拓く人間の育成を目指して基本目標と基本方針を定めます。

【基本方針】

1 本市の特色を生かした教育

本市は、水と緑の自然と肥沃な台地にあり、千年以上もの歴史と文化、全国有数の農畜水産物の生産とその産業、先進的なICTの活用などに特色があります。

このような魅力ある特色を理解し、本市で生まれ育ったことへの愛着と誇りを持ち、自律的な発展に寄与しようとする意欲のある人間の育成を目指します。

2 新しい社会を牽引する資質・能力の育成

これからの新しい社会を牽引するためには、知識・技能、思考力・判断力・表現力とともに、読み解き対話する力、自己の主体性を軸にした学びに向かう能力、豊かな心、健康やたくましさなどが求められます。

本市の特色を生かすとともに、ICTを有効に活用した個別最適化された教育を推進し、新しい時代を牽引する資質・能力の育成を図ります。

3 新たな価値を創造する自立した学び

変化の激しい社会を生きていくためには、生涯を通して学びを重ね、スポーツに親しめるようにするとともに、夢や可能性に向かって果敢に挑戦し、新たな価値を創造できるようにすることが大切です。

多様性を尊重し、様々なスキルを身に付けられるよう、生涯にわたって自立的に学び続けられる環境の整備と質の高い教育を提供します。

4 未来を切り拓く人間の育成

人間の強みを生かし、自立的に学び続け、新しい時代を牽引する資質・能力、社会の新たな価値を創造する力、夢や可能性に果敢に挑戦する力を発揮することで、未来社会を切り拓くことができます。

自尊感情や社会参画意識を高め、これまで以上に高い能力を身に付けるとともに、生まれ育った郷土の発展や持続可能な社会への貢献を志向し、未来に夢や可能性をもてるような教育を推進します。